

## 第4回米原市定例教育委員会

日 時：平成29年 4月26日  
午後3時30分開会  
場 所：山東庁舎 3階 第2委員会室

(出席者)

教 育 委 員：河居委員長職務代理者 本庄委員 近藤委員 山本教育長  
教 育 総 務 課：西出課長  
学 校 教 育 課：一ノ宮課長  
生 涯 学 習 課：花部補佐  
歴 史 文 化 財 保 護 課：桂田課長  
学 校 給 食 課：大澤課長  
図 書 館：今川館長  
書 記：澤

(欠席者)

教 育 委 員：中川委員長  
教 育 部 長：田中部長

### 1 開 会

### 2 委員長職務代理者あいさつ

こんにちは。本日は中川委員長が御欠席のため、職務代理ということで進めさせていただきたいと思います。慎重に審議いただき、より良い形になるようにしていきたいと思っています。また、決まった内容の伝達をよろしく申し上げます。

開会に先立ちましてあいさつということで私から3点ばかりお願いがございます。まず、今年度は第2期教育振興基本計画のスタートの年であります。行政はもちろんのこと、NPOや学校関係者、子どもから大人の方を含めて計画に基づいて方向性が決められていますので、横の連携を取りつつ進めていただきたいと思います。

次に、今年はワールドマスターズ、オリンピックのホストタウン、国体と3つの大きな大会の準備の段階の第一歩の年であると思っています。先日も教育長をはじめ関係者の方々がニュージーランドへ視察に行ってくださいました。この3つの大会を機にスポーツに対する捉え方が変わる転換の年であると思っています。大会を開催するだけでなく、何か住民のために残るようなレガシーをつくれるようなものとして位置付けられればと思いますので、その準備が具現化するよう力を入れていただきますようお願いします。

最後に、働き方改革が言われています。今年は働き方を変えようということで非常にクローズアップされる時期だと思っています。この働き方を変えるにあたりましては、女性の進

出やダイバーシティーの考え方を持たないと解決できないのではないかと考えています。介護を抱えて仕事をしている、あるいは家事を抱えて仕事をしている等、いろいろな状況の人が一つの職場で働いています。その人の働き方を認めて、限られた時間内で「こなす」という考え方が浸透しないとこのような働き方改革は実を結ばないのかなと考えております。教育委員会の職場も含めて今年からその働き方改革を考える必要があるのではないかと思いますので、その辺も考えながら1年間仕事をしていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

### 3 事務局職員自己紹介

### 4 会議録承認

3月定例会議事録 承認

### 5 教育長報告

#### 【山本教育長から報告】

3月の下旬の臨時教育委員会にも御出席いただきありがとうございました。4月1日から人事異動で定例教育委員会の出席者も何人か変わりますのでよろしくお願いします。4月1日に教育部の年度始め式を開催させていただきました。今年度は第2期教育振興基本計画をどのように推進していくのかが大きなテーマであるといった話をし、私の方から各課に願いを伝えながら推進していただくよう話をさせていただきました。委員のみなさんも各保育園、認定こども園、幼稚園の入園式や小中学校の入学式に御出席いただきありがとうございました。無事29年度がスタートしましたが、どこの学校・園におきましても様々な課題等がありますので、それらと向き合いながらやっていただいているような状況です。

私も4月17日から24日まで1週間、ニュージーランドにワールドマスターズゲームズの視察に行かせていただきました。狙いが3つほどあり、1つはワールドマスターズゲームズの視察という大きな狙い、4年後関西ワールドマスターズゲームズのホッケーの大会を米原市で開催するということで、滋賀県の県立ホッケー場の改修工事、また伊吹第一グラウンドの人工芝に向けての改修工事、そして長浜市の長浜ドームも使用していこうといったマスターズゲームズの視察と、2つ目はホストタウンとして2020年の東京オリンピック・パラリンピックのニュージーランド選手団を事前合宿地として米原市で誘致したいということで、ニュージーランドのホッケー協会を訪問して、米原市に来ていただきたいという願いをしてきました。交渉につきましては、どこまで米原市が負担をしていくのか、ホッケー協会との今後のやりとりの中で決まっていきます。厳しい部分もありますので、妥協できないところはできないといった話を進めています。

もう一点は、ホストタウンの事業を通して国際交流をしていきたいと思います。

ろで、ニュージーランドの北島のほぼ真ん中あたりオークランドから飛行機で約1時間のフェイスティングという町で、米原市の大澤さんがぶどう園を作っておられる場所で非常にゆかりがある町の市長と市内の学校関係の方とお出会いしました。できたら午前中は英語の勉強をして、午後はホッケーの指導を受けるといった「ゲームオンイングリッシュ」をやっけていこうということと、ホッケーはしないけれど一般の児童生徒が留学的な感じで一週間くらい英語を学びに行くという、そんなことが今後構築できないかと交渉してきました。あちらの学校や市として「留学制度は大いに歓迎します」という返事でした。あとは、経済的な保護者負担や市の負担をどのように整理していくか、その辺がこれからの制度設計に向けての課題があるということで帰ってきました。4月から市の学校教育課にケビン・スーという市の職員がおりますので彼を窓口にしなが、あちらとやりとりをして制度設計に向けて動いていきたいと思っています。

教育総務課におきましては、2、3年の間にエアコン工事やエレベーター工事をたくさん実施しましたので、国の会計検査があり4月18日に無事終わりました。また、5月12日にはエクシブ琵琶湖で開かれる都市教育委員会連絡協議会の研修会の会場地に向けての準備をしていきたいと思っています。

学校教育課につきましては、無事に入學式、入園式が終わり、課題もある中ですが順調にスタートできたかなと思っています。中学校の修学旅行では本日伊吹山中学校が沖縄へ出発し、双葉中学校が明日沖縄へ出発します。残りの中学校はほぼ終わっていると聞いています。ただ、昨日の段階で県教育委員会の方から北朝鮮の日本やアメリカに対する威嚇攻撃があった場合、屋内待機という指令が出たら学校は臨時休校となると出ましたので、市もその通知に合わせて通知を同じようにさせていただいています。万が一屋内待機になれば臨時休校、学校へ来ている場合は学校での待機で、当然修学旅行も行けなくなるので心配をしましたが今日の段階では大丈夫だということです。そして、4月18日には全国学力学習状況調査も終わりました。

生涯学習課におきましては、年度初め式でも学び合いのまちとしてお伝えしました。教育というと学校の子どもが中心に思われがちですが、学び合いのまちとしての様々な取組を行っていただいています。4月22日には家庭教育フォーラムを開催しました。私が不在であいさつができませんでしたので、ビデオ録りをしてあいさつをさせていただきました。約60数名の参加者があり、評価としては70%くらいの高い評価をいただいていると聞いています。

歴史文化財保護課につきましては、子ども歌舞伎をやっている市で日本遺産の登録ができないかという働きかけが石川県小松市からあり、富山県砺波市、滋賀県長浜市、米原市、岐阜県垂井町あたりを取り入れながら子ども歌舞伎の遺産登録に向けた動きがあります。今、文化財保護課で市長部局と連携のもとに動いているところです。また、柏原の萬留帳の第1刊が発行できる段取りができましたので6月にはお披露目会や講演会をさせていただこうと思っています。そして、井之口の太鼓踊りの補助金助成がいただ

けるようになったという報告を受けています。

学校給食課におきましては、3月卒業時期に向けてのバイキング給食をやっていただき、新学期は1年生への給食準備等の指導もしていただいています。安全・安心な給食の配食ができていますところでは。

図書館につきましては、学校との連携で山東小学校の子どもたちが本の帯展で、こんな本を読んでみましょうと紹介を作ってくれたりしていますし、子ども読書の日のスペシャルおはなし会も4月23日に開催していただいています。今年度の学校図書館大改造は山東小学校の予定で、その視察もしていただいています。はにわ館のリノベーションに向けた入札の準備もしていただいています。

私もニュージーランドに行き、オークランドの会社の方から本を20冊、毎月月刊誌を送っていただいているようなことが連携の中でありましたので、社長さんたちに現地でお会いしお礼を申しあげ交流もさせていただきました。

委員A : ありがとうございます。今、御説明いただいたことで委員の皆さんから何かございませんか。

委員B : 中学校の入学式で校区外からの祝電が届けられていましたが、現在、学区外から通学されている生徒さんの人数や状況が分かれば教えていただきたいと思います。

事務局 : 市内全部は今手元に資料がないので不確定ですが、米原中学校は2人、河南中学校区から学区外就学で来ています。理由はスポーツ少年団からバレーボールをやっていて続けたいけれど河南中学校には女子バレーボール部がないということです。このような形で各校数名部活動関係や小学校時代の人間関係でなじめないといったことで学区外就学している生徒が1、2人いると思います。

委員B : 電車も使って通学されているのですか。

事務局 : そうです。河南中学校から米原中学校に来る生徒は電車を使っています。一部自転車を使って通学している生徒もいます。

事務局 : すべての中学校区でそういった異動はあります。柏原中学校からホッケーで伊吹山中学校、双葉中学校から河南中あるいは河南中から双葉中へと、これは部活動や人間関係、親の関係等でといったことはあります。

委員B : 友達と登下校できるような関係とかはあるのですか。

事務局 : 一人でどうしても行かざるを得ない子もいます。それは、親の送り迎えなり責任のもとでということを行っています。柏原の子は電車で来ています。

委員C : 新学期が始まり家庭訪問も始まっています。担任の先生も新しい先生で子どもも楽しく学校へ行っていますが、実際に子どもに聞く話と先生との話は違うと思いますので、先生の話聞くのを楽しみにしています。

入学式にも行かせていただきましたが、新1年生がとても元気だったという印象をすごく受けました。近所の子の話を見ると学童が楽しい等と言っていて、今は何もかもが初めてなので楽しいと思うのですが、これからいろんな問題が出てくるので、そこを先生がどのようにフォローしていただけるのかなと新一年生の親の方と話をしていました。その辺のところを上手くフォローしていただけたらなと思いました。

委員A : 保護者の率直な意見だと思います。よろしくお願いします。

この間、千葉県で通学途中に悲惨な事件が起き、非常に心配されている方が多いです。以前に問い合わせ事案等があったと思いますが、今の状況はどうか。今でも報告されているのでしょうか。

事務局 : 季節的などころもあり、これからが多くなる時期だと考えています。そういった事案があった場合は、保・幼・小・中など全てにファックス等で十分気をつけてくださいということで情報共有をさせていただいています。

委員A : 家庭教育フォーラムに参加させていただきましたが、8.3運動のチラシが入っていました。全市的に監視の目を持っていただくことで、事件の未然防止等にも繋がると思いますので、何かの時にチラシを配っていただけることは良いと思います。事故がないようにやっていきたいなと思っています。

今年初めて外国の方が正規職員として配置され、これから期待されるのですが、そういった方をどのような形で力を発揮してもらおうとお考えなのでしょうか。

事務局 : 1人は10年以上米原市にいて、ALT、MGTということで学校に入り米原市の実態等もよく知ってくれます。ALTは入れ替わりがあるのでALTをまとめながら特例校として1年生から英語のシャワーを浴びるような授業を進めていきますので、カリキュラムや指導方法のアドバイスもしてくれます。また、教育センターで英語教育の部会を立ち上げて研究を進めて行く際にも助言をしてくれたり、ホストタウンのことも関わりながら多様な部分で動いてくれると期待して

います。

委員A : 日本の事も知っている方なので良いと思いますし、気持ちが分かる方だと思っていますので頑張っていたきたいと思います。

## 5 議案審議

報告第 1 号 専決処分の報告について 【教育総務課・学校教育課】

委員A : 教育部局や学校現場でも新規採用の方が多くいらっしゃるの、上手く育ててあげてほしいと思います。

原案承認

議案第 1 5 号 臨時代理の承認を求めることについて 【教育総務課】  
(米原市教育委員会事務局組織規則の一部改正)

原案承認

議案第 1 6 号 臨時代理の承認を求めることについて 【教育総務課】  
(米原市教育委員会事務決裁規程の一部改正)

原案承認

議案第 1 7 号 臨時代理の承認を求めることについて 【生涯学習課】  
(米原市社会教育委員の委嘱について)

原案承認

議案第 1 8 号 米原市文化財保護審議会委員の委嘱について 【歴史文化財保護課】

原案承認

議案第 1 9 号 米原市通級指導教室設置規則の一部を改正する  
規則について 【学校教育課】

原案承認

議案第 2 0 号 後援等名義使用承認(後援)について 【生涯学習課】  
○第 46 回全日本フィールドアーチェリー選手権大会

委員A : フィールドアーチェリーとアーチェリーはどこか違うのですか。

事務局 : アーチェリーもいろいろ種類があるようで弓矢の種類によっても違うそうです。フィールドアーチェリーは直径が 20 センチ、40 センチ、60 センチ、80 センチの標的 4 種類があり、それぞれに討つ距離が変わっていて全部で 24 種類標的があるそうです。標的に対して 3 回ずつ討ってその合計点を競うのがフィールドアーチェリーになっているようです。

今回 29 年度の開催地としてあげられていますが、今後米原市で継続的に開催するということであればホッケーとも合わせてスポーツのまちとしての効果も出るのかなというところと、ホッケーに限らずアーチェリーでも PR していけるところもあり、観光や宿泊で経済的などところについても影響してくるかなと思っています。

事務局 : スポーツの推進という意味では、上手く活用していただけると米原市のスポーツ振興になり活性化にもなります。経済の活性化も含め継続してやっていただけるとありがたいなと思います。

原案承認

## 6 報告事項

### (1) 後援等名義使用承認（後援）について

- 第 30 回カロム日本選手権大会 【生涯学習課】
- 第 21 回千寿舞の会発表会 【生涯学習課】
- 音楽劇「美味しいメロディ」 【生涯学習課】
- 第 15 回川端旗争奪野球大会 【生涯学習課】
- 第 12 回琵琶湖 CUP 【生涯学習課】
- 米原市人権教育研究大会 【学校教育課】
- 写生大会 2017～お祝いしよう彦根城～ 【教育総務課】

(2) 米原市人権教育推進員の委嘱について 【生涯学習課】

(3) 米原市体育振興員の委嘱について 【生涯学習課】

委員A : どこの自治会も加入されているのですか。

事務局 : ほぼ、報告をいただいています。

事務局 : 例えば、体育の日やチャレンジデイとか、そんなことをする時はこの方たちが実際に動いてくださるということですね。

事務局 : そうです。今年度から各自治会で自治会ごとに「スポーツ活動をされていますか」といった調査をさせていただき、実態を把握して今後の展開につなげたいといったところで願いをしていこうと思っています。

事務局 : 各自治会のスポーツの振興がマンネリ化してきたということで、やっている所とやっていない所があったりしています。米原市としては成年の週1回以上運動する率を50%に高めたいというスポーツ振興計画の目標指標にもあるので、できれば米原市チャレンジデイというようなことでアンケートをとった上でどの時期にそういったイベントをしておられるのか。それに合わせてこの何日間の中で、米原市民は最低1回はスポーツにチャレンジしましょうというような日の設定ができないかなと考えています。

委員A : 前回の国体の時に、自治会ごとに運動会をしようとか、そういった機運があつて、それがだんだん下火になってきたので何かまた2巡目の国体に合わせて機運が高まれば良いのかなと私も思います。

#### (4) 平成29年度米原市奨学資金の貸与予定者について

【教育総務課】

事務局 : 2回生で申請されてきたということですね。

事務局 : そうです。

委員A : 無利子で返済というものです。また、給付型の奨学金の話も出てきてますね。

事務局 : 今、事務局の中で市長部局との連携のもとに給付型奨学金の制度設計をやっています。おそらく9月頃の議会には提案できるような制度設計をしたいなと思っていますので、その折には教育委員会に図りますのでよろしくお願いします。国も2018年度からの給付型奨学金制度をやろうということで、各高校推薦というような形で基準を出すような形をとっているように聞いていますが、米原市の場合は国がやっている給付型よりももっと基準を少なくしてやっていこうということです。その辺のことについて今検討しているところです。

委員A : 何かキラリと光るものを作っていただきたいなと思っています。



(5) 「米原市保育の指針」改定について

【保育幼稚園課】

事務局 : この4月からということで、現行で使っていた指針を見ながらみんなが同じ事をするわけではありませんが、一緒に米原市の子どもたちをみんなで育てていくという方針で進めていきたいと思いますという確認をしています。

事務局 : 質の高い保育の提供という部分で言えば現場での保育士、あるいは教諭の力量アップです。もうひとつの柱としては家庭支援、園の中で保護者に対する家庭支援もあり、未就園の保護者や子どもが集う支援センターの機能、ここは病院がありますが実際家庭支援センターのニーズはどうですか。

事務局 : 子育て支援センターが市内に4センターあります。利用者数も増えていますがその中でも乳児の利用が増えていて、0歳児のニーズがすごく増えてきています。0歳の中でも早くて2か月3か月のお子さんを連れてこられている方も増えてきています。家の中で1対1で子どもとずっと向き合うという部分のしんどさが出てくるので、センターでホッとできて、自分だけじゃなくて「こんなふうに関わるのか」など、いろんな子がいるのでその姿を見ながら良い意味で見比べたりして、先が見通せるということは大きいと思います。

事務局 : 今4センターというのはどこでしたか。

事務局 : 米原があゆっこ、近江、伊吹は認定こども園、山東は保育園でやっています。市民さんはどのセンターへ行っても、地域に関わらず自分の行きたい所を利用していただいています。

事務局 : 支援センターが充実して4つになったのはいつからですか。

事務局 : 最終ふたばっこができたのが平22年で、今から4年前です。

事務局 : 3、4歳でもおむつがとれない子どもさんがいるという現実から、家庭支援センターが機能しだし、その辺の改善はされてきているというのはあるのですか。

事務局 : 生活習慣のことや離乳食の話もしていますが、ただ、就園に向けた話をしていくのですが、「やらないといけない」とまでは。それ以前のところでしんどさを抱えておられる親御さんがすごく増えてきているなという部分があります。

事務局 : 3世帯同居の中で子育てができる人と核家族化が当たり前の中でどうして子育てして良いのかと思う人と、どの時期に離乳食なりおむつのトレーニングをさせるのかといったことは共通の悩みで、その辺は十分支援センターの中で支援できますよというようなPRの仕方などが私は大きいかなと思います。

事務局 : その都度それぞれみなさん段階ごとに悩みが違ってくるので、個別に話を聞いたミニ講座を開催しています。気軽に来ていただいて話をする場にもなり、いろんな生活習慣や情報の場、また予想しない時にどうしたら良いかなどが分からないのでセンターに来て保育士と話したり、親同士のつながりの中で学んでいただいているのではないかと思います。就園してからの生活に繋がれば良いなと思っています。

委員A : 今、未就園児等で虐待を受けての悲惨な事故がありますが、支援センターに来られない方、そういった親御さんを見つけ出してフォローができる仕組みづくりができればなと思います。

事務局 : 全戸訪問という形で健康づくり課の保健師さんがされていて、支援センターも毎日開いています。来られない方には手紙を必ず家のポストに入れたり、顔を合わせられるように家に行かせていただいています。どうしても会えない場合もあるので何度か訪問しできるだけ出会えるように動いています。

委員A : 民生委員さんもおられますしね。

委員C : 私もあゆっこにお世話になった一人です。そこで知り合いになった保護者の方とかとは今でも話をしたりします。昔は祖父や祖母がいたりしていましたが、今は核家族で昼間は子どもと1対1になるので、不安がいっぱいで支援センター等に行って悩みを打ち明けることによって自分だけではないと感じましたのでみなさんにも行っていただきたいと思います。すごく支えになりました。

委員A : あゆっこに行かれるきっかけは何だったのですか。チラシとかですか。

委員C : チラシを見てです。最初は行きにくかったのですが他のお母さんから声をかけてくださって行くようになりました。最初は一人で行くことに抵抗がありましたが、行くと顔見知りになるので救われることもたくさんありました。逆に行かないとさみしいと感じることもありました。

委員A : 貴重な体験談をありがとうございます。

事務局 : 上手くPRをして、活用してもらえようをお願いしたいと思います。

事務局 : 米原は園の中に支援センターがあることで良いと思います。実際に利用された時に園でどのような生活をしているのか等、園の職員にとってもこれから来る子どもたちや親御さんにつながるということはすごく大事な部分だと感じています。

## 7 質疑応答

## 8 その他

- ・ 県外研修意外に市独自の研修予算が確保できたため、教育委員会で出た課題等に係る研修について提案等があればお願いしたい。

## 9 閉会

次回 : 第5回定例教育委員会 5月22日(月) 15時45分～

以上をもって第4回定例教育委員会を午後5時00分に終了した。